

時期

トピックス

## ■天王寺動物園が大規模リニューアルへ 事業費は85億円を想定

2016年7月21日、開園101周年を迎えた大阪市立天王寺動物園(大阪市天王寺区)が次の100年に向けたリニューアル案「天王寺動物園101計画(素案)」を発表した。

事業計画は2017年度から2036年度までの約20年間で、事業費は約85億円を想定。

活性化計画は、情報発信の強化、多様なイベント、年間パスポートの導入など。経営計画は、公費負担率が50%を超えることからサービス改善などの取り組みで年間来園者数175万人を目指し、ネーミングライツなどで入場料外収入獲得の取り組みを行うなど。

吉村洋文市長は「100周年を迎えた昨年度はナイトZOOなどの取り組みで約173万人が来園し、全国3位の来園者数だった。これを通過点として素案を作成した。動物が自然な形で動き、見るほうもできるだけ近くで見られるのが基本コンセプト」と説明。

※ナイトZOO・・・昨年8月に開園100周年を記念して初めて開催した同イベント。初開催時に多くの人々が訪れたため、昨秋と今春に開催したときは事前応募制だった。

※今回は仕事帰りに立ち寄れるよう、金曜・土曜を中心に開催。事前申し込み不要で、通常の開園時間からも引き続き楽しめる。  
※全国動物園来園者数ランキング・・・1位:上野動物園(東京都台東区)、2位:東山動物園(名古屋市)(大阪日日新聞より抜粋)



▲上:101周年 ▼下:100周年

## ■関西の駅に宅配ロッカー、京阪電鉄が推進 再配達を削減へ

2016年7月28日、京阪電気鉄道は、自宅で荷物を受け取れなかった際に、駅で宅配の荷物を受け取れる「オープン型宅配ロッカー」を8月1日から順次設置すると発表した。

利用者が指定したロッカーに宅配事業者が荷物を再配達し、通勤・通学などの途中に受け取れる。今年5月、ヤマト運輸と仏企業が設立した合弁会社「Packcity Japan」と連携し、8月1日から大阪府の守口市駅、寝屋川市駅、樟葉(くずは)駅、8月8日から枚方市駅でサービスを始める。

オープン型宅配ロッカーは、複数の宅配事業者が共同で利用できるのが特徴。今後、設置する駅の数拡大のほか、ヤマト運輸以外の宅配事業者の荷物の受け取りも可能になるという。(※JR東日本では2016年6月中旬より順次スタート。)

京阪グループの京阪ザ・ストアが展開するコンビニエンスストア「アンズリー」でも、8月1日から宅配便の発送受付、店頭受け取りを始める。



▲京阪守口市駅構内に設置(正面)

概要	
開始日	8/1
名称	PUDOステーション
対象	ヤマト運輸「宅急便」
仕様	屋内型、屋外型 3サイズ
設置駅	守口市駅、寝屋川駅、枚方駅、樟葉駅
料金	無料
利用時間	年中無休(始発～終電)

※PUDO・・・Pick Up and Drop Off stationの略称

## ■大阪地下鉄・JR大阪環状線計95駅で、大阪検定をおもしろいポスターでPR



2016年8月16日、大阪商工会議所は大阪市営地下鉄とJR大阪環状線の計95駅で「大阪検定ポスター展」を8月18日から10月5日まで開催すると発表した。大阪検定の認知度向上を図るため、本年度初開催。

同展は「大阪を知れば大阪がもっとおもしろくなる」をキーワードに、それぞれの駅にちなんだ大阪検定問題を盛り込んだユニークなポスターを各駅に1種類掲出。

「大阪検定」は今年11月27日実施で、2009年度から8回目となる。過去7回の開催で累計24,152人が受験しており、全国で2番目に受験者が多いご当地検定。試験は初級、上級とあり、点数によって1級、準1級、2級、3級が決まる。1級ともなると、合格率は8.8%の難関試験(前回試験データより)。同じく3級の合格率は80%。

<回答選択肢>  
ポスター左:①本堂 ②井戸の中 ③木の上 ④落ち葉の中  
ポスター右:①ロールケーキ ②先物取引 ③LED ④乾電池

## ■JR西日本 京都・梅小路など新駅・新線続々

2016年8月5日、JR西日本はおおさか東線のJR長瀬～新加美間に設置する新駅「衣摺(きざり)」の概要を発表。駅舎は「モノづくりが紡ぐ歴史とまち」というコンセプトのもと設計される。

おおさか東線は、2008年3月15日に学研都市線(片町線)放出駅と大和路線(関西本線)久宝寺駅との間が先行開業。残る新大阪～放出間の開業予定は2019年春。将来的には、大阪駅の北側地下に建設される北梅田駅(仮称)に乗り入れる構想もある。

また、2016年8月12日、JR西日本より山陰本線(嵯峨野線)・京都～丹波口間に「梅小路新駅」が2019年春に設置となることが発表された。同駅は「京都鉄道博物館」の最寄り駅となる。基本コンセプトは、「梅小路公園および京都市西部地区の玄関口として、鉄道を意識していただきつつ、地域との連携を育むデザイン」。京都の町並みの「縦格子・縦縞」、京友禅の反物の「縦長矩形」、工芸品に用いられる「梅柄(光琳梅)」を引用するとともに、公園と調和し、地域のシンボルとなるように、ホームの外壁や入口部を曲面として、京都らしい色彩計画とする。

<今後関西で予定されている新駅・新線一覧>

※駅名は一部仮称です。

新駅・新線	時期	事業者名	路線名	区間(仮称)
新駅	2018年春	JR西日本	東海道本線(JR京都線)	JR総持寺(摂津富田～茨木間)
	2018年春	JR西日本	おおさか東線	衣摺(JR長瀬～新加美間)
	2019年春	JR西日本	山陰本線(嵯峨野線)	梅小路新駅(京都～丹波口間)
新線	2019年春	JR西日本	おおさか東線	新大阪～放出
	2020年度	北大阪急行	南北線	千里中央～箕面船場～新箕面
新駅	2023年春	JR西日本	(東海道支線)	北梅田



▲2019年春に開業予定の「梅小路新駅」位置図

7月下旬

8月